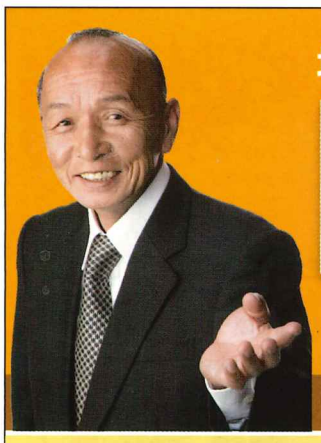

埼玉県議会議員

岡地まさる 県政報告

信頼と責任

2026年 秋号

岡地まさる県政事務所
桶川事務所
桶川市上日出谷42-73
TEL.048(780)2982
FAX.048(780)2983

発行　埼玉県議会自由民主党議員団

県議会9月定例会報告

一般会計補正予算【第3号】 合計113億9,168万2千円を議決

県議会9月定例会は9月25日から10月16日にかけて開催され、一般会計補正予算【第3号】113億9,168万2千円の計上等を議決し閉会しました(補正後累計額は2兆4,564億6,583万3千円)。

補正予算の主な内容は、国の「高校教育改革に関する基本方針」に基づく高校教育改革に資する拠点整備に21億4,017万1千円、公共事業の追加、適正工期の確保に82億3,620万4千円等が盛り込まれました。公共事業の追加工事の実施により、交差点改良を含む道路・街路事業(96か所)や河川事業(8か所)が前倒しで進められることになり、安心・安全と利便性向上の早期実現が期待されます。

高校教育改革に資する拠点整備　合計21億4,017万1千円

1. 背景

国の「高校教育改革に関する基本方針」(R8.2)
○生産年齢人口の減少や人材不足が進行
○AI・DXの進展に対応できる人材育成が必要
▶ 高校改革の方向性
・AIに代替されない能力や個性の伸長
・経済・社会の発展を支える人材育成
⇒**県立熊谷工業高校**が、改革を先導する拠点として**国から採択**(事業期間:3年間)

2. 目指す教育改革

新たな工業教育モデルを開発
→**産業プロセス全体を理解**し、ICTを駆使して生産性向上や高付加価値化を担うことができる高度な実践的人材を育成
・5学科(建築・土木・電気・機械・情報技術)の横断的学習
・生産工程(設計→測定→制御→製造→解析→改善)を一体的に捉える学び
・企業、大学、地域との最先端の学び

3. 補正予算の内容

(1)改革先導拠点の整備　1億2,062万5千円
(うち繰越明許費の設定 8,694万2千円)
ア 施設・機器等の整備
・施設改修、デジタル技術を活用した学習環境整備
イ 新しい工業教育モデルの開発
・高度な専門人材を育成するカリキュラム構築

(2)基金への積立　20億1,954万6千円

【施設改修(イメージ)】
<普通教室>

<企業・大学・地域との協働拠点>

【機器整備(イメージ)】
<土工機械シミュレータ>

4. 今後のスケジュール

令和8年度	令和9年度	令和10年度
教育モデル開発着手 ▶	実証・改善 ▶	確立

大野知事が「ふれあい訪問」で桶川市を訪問

大野元裕県知事による「ふれあい訪問」が8月3日、桶川市にて実施され、桶川飛行学校平和祈念館(川田谷)、三共理化学株式会社(泉2丁目)、株式会社TOYO EVERYDAY HOLDINGS(西2丁目)を訪問されました。

桶川飛行学校平和祈念館

桶川飛行学校平和記念館は旧陸軍熊谷飛行学校分教場として昭和12年から利用が始まり、戦後は公営住宅として平成19年まで使用されていました。平成28年に建物5棟が桶川市指定有形文化財に指定され、平成30年から建物の復原整備工事が始まり、令和2年8月に開館。現在は平和を尊重する社会の実現等に寄与する施設として、当時の教育や訓練、生活の様子についての展示や映像資料の上映等を行っています。

三共理化学(株)

三共理化学(株)は研磨技術で自動車や電子部品など国内外の幅広い産業を支える総合研磨布紙メーカーです。昭和33年に桶川工場を建設して生産拠点として、研磨紙の製造、販売を開始。平成11年には本社も同工場に移転しました。「世界のモノづくりに貢献する」を企業ミッションに掲げ、中国にも生産拠点を構えるなど、グローバルな展開を加速させており、輸出国数は20か国に及びます。

(株)TOYO EVERYDAY HOLDINGS

(株)TOYO EVERYDAY HOLDINGSは、昭和62年に北本市で株式会社東洋として創業。令和6年にホールディングス体制に移行し、令和7年に本社を桶川市に移転しました。クレーンゲーム専門店の運営管理を中心に宝石などのリユース事業も手掛け、SNSを活用した広報や集客、自社製品の企画開発等に注力しています。

拉致被害者の方々の一日も早い帰国の実現に向け、皆さまのご支援を!!

地域と歩む、ふれあい活動報告

全国戦没者追悼式に出席

全国戦没者追悼式が8月15日、日本武道館において開催され出席しました。今回、初めて参加しましたが、参列した遺族ら3467人とともに正午に黙とう。黙とう後、天皇陛下がおことばを述べられました。

参列者の戦後生まれの方々は5割を超え、18歳未満の遺族は59人とのこと。戦争の記憶が次の世代へと引き継がれていく大切さを実感いたしました。

9都県市合同防災訓練に出席

第47回9都県市合同防災訓練が8月30日、熊谷スポーツ文化公園(熊谷市)にて開催されました。

訓練には消防、警察、自衛隊、医療機関など99団体が参加し、関東平野北西縁断層帯を震源とするマグニチュード8.1の直下型地震が発生、熊谷市内で震度7の揺れを観測したとの想定で行われました。

近年は集中豪雨や大規模地震が各地で発生しており、訓練と併せて災害対策が喫緊の課題となっています。今後とも全力で取り組んでまいります。

拉致問題県民の集いに出席

拉致問題を考える埼玉県民の集いが、9月19日、埼玉会館にて開催されました。今年は田口八重子さんの長男、飯塚耕一郎さんと横田めぐみさんの弟、横田哲也さんが登壇され、拉致問題の早期解決を訴えられました。

48年以上も前に起こった事件ですが、決して終わった事件ではなく、今なお続いている事件です。一日も早く解決するよう、県議会でもしっかり取り組んでまいります。

コアラ来園記念式典に出席

県立こども動物自然公園にて8月22日、コアラ来園記念式典が開催され出席しました。

今年はコアラが初めて来園して40年となります。そんな節目に、埼玉県こども動物自然公園に新たに2頭のコアラ、アーノルド(オス2歳)とバブルス(メス2歳)が仲間入りしてくれました。10頭になったコアラたちが、お子様をはじめ来園者を楽しませてくれることでしょう。

桶川ジャンボスイカコンテスト開催

第19回桶川ジャンボスイカコンテストが8月22日、23日の2日間、、桶川べに花ふるさと館にて開催されました。

今年は梅雨時期の雨や曇りの日が多かったことで受粉が進まず、栗原安雄さんが39.8kgで1位(埼玉県知事賞)を受賞されました。例年50kg超えのスイカを育てる方が3～4人はいましたが、今年はいらっしゃいませんでした。

べに花ふるさと館に訪れたお客さまには会員が育てたスイカを無料で食べていただき、たいへん喜ばれました。

◀今年、私は10位(東日本旅客鉄道(株)上尾駅長賞)を受賞しました。私も受粉が中々できず8月初旬に受粉し何とか出品できたという状況でした。

人材育成・文化スポーツ振興特別委員会

青森県の特徴的な取り組みを視察

人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会は8月25日、26日の両日、視察で青森県を訪問しました。

八戸工業高等専門学校

独立行政法人八戸工業高等専門学校は5年間の一貫教育と、地域企業との共同研究やインターンシップ、国際交流等を通じて、地域社会と産業界を支える人材育成を図っています。また青森県のグローバル人材育成事業「高校生海外フィールドワークチャレンジ」に令和6年度から2年連続で採択され、グローバル人材育成を推進している他、令和8年度は「青森エネルギー教育センター」を設置し、再生可能エネルギー分野の教育・研究も進めています。

埼玉県の公立高校でも魅力ある高校作りに取り組んでおり、今後の検討に向けた参考になりました。

新青森総合運動公園

新青森総合運動公園は新たな総合運動公園として新設され、屋内50mプールも整備されています。また青森県初となるPFI事業を導入し、大林組・日本水泳振興会など6法人から構成されたPFI青い森スポーツパーク株式会社が施設運営を行っています。

埼玉県でも現在、上尾運動公園の整備や川口市で屋内50mプールの整備を進めていますが、今後の運営のあり方など、たいへん参考になる視察した。

県土都市整備委員会

関東近県における先進事例を視察

県土都市整備委員会は7月23日、24日の両日、関東近県における先進事例を視察しました。

芝浦水再生センター

芝浦水再生センター(東京都)は昭和6年に稼働を開始。同センターへの主要な下水道幹線として飯田橋幹線、高段幹線及び低段幹線が機能しているが、老朽化が進んでいることに加えて、常時水位が高く調査が困難な状況にあります。そのため、新たに「千代田幹線」を整備して下水の流れを切り替え、既存幹線の水位を低下させることで、再構築工事を推進しています。

埼玉県内でも下水道管路の老朽化が進んでおり、担当者の「老朽化が始まってから老朽化対策を考えるでは遅過ぎます」との言葉がたいへん印象に残りました。

国道1号静清バイパス清水立体

国道1号線静清バイパスは、交通渋滞の緩和、交通安全の確保及び環境保全を目的として、静岡市清水区横砂東町から八坂西町を結ぶ全長2.4kmを高架化する「清水立体」事業が進められています。

静清バイパス沿線では近年、物流拠点の立地が進むとともに、清水港の取扱貨物量も増加しており、清水立体の整備により港湾物流の更なる活性化が期待されています。

埼玉県でもミッシングリンクの解消として主要幹線道路の整備が急ピッチで進められていますが、道路交通網の整備と地域経済の発展は深くリンクしており、今後の施策を考える参考になりました。

岡地まさる　県政事務所
〒363-0026　埼玉県桶川市上日出谷42-73
Tel. 048-780-2982 ／ Fax. 048-780-2983

ポスティング作業など、お手伝いいただける方を募集しています。詳しくは岡地まさる県政事務所へお問い合わせください。